

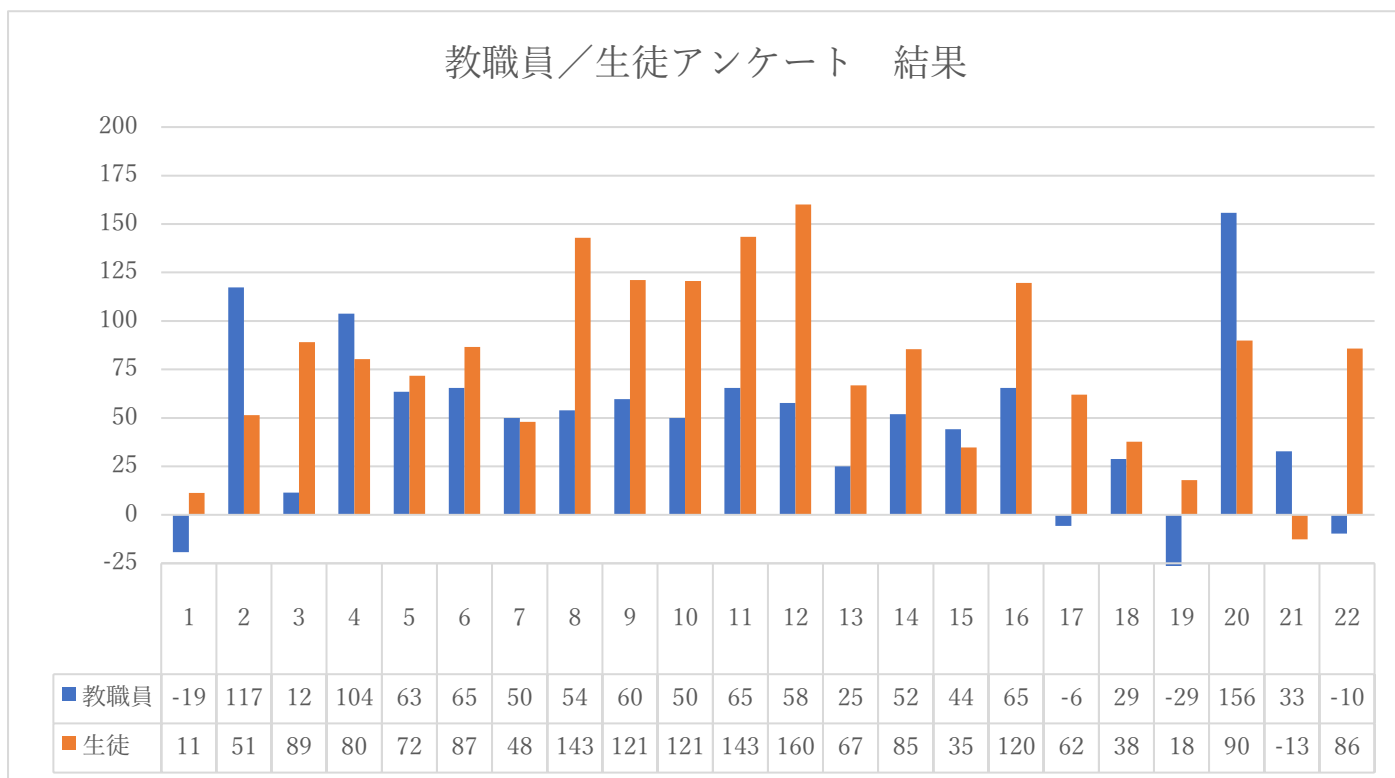
令和4年度学校評価アンケート 結果

慶誠高等学校

●教職員及び生徒アンケート結果

教職員及び生徒アンケートの回答を点数化し、比較したものが下記のグラフである。本アンケートは、教職員及び生徒への質問事項を統一し、両者間でのギャップがないかを考察することができる。したがって、このアンケートの結果を今後の学校運営、教育活動へ反映されるよう努めていく。

***点数は200点満点**



【質問①】

職：本校生徒は三綱領（至誠・英知・和敬）の意味を理解している。
 生：私は本校の三綱領（至誠・英知・和敬）の意味を理解している。

昨年よりも教職員からみでの生徒の理解度は低い評価となった。併せて理解している生徒の割合も低い結果となっている。本校では、入学後、三綱領の意味について説明しているが、それに留まり日頃の学校生活の中で三綱領に触れることが少ないのが要因と思われる。三綱領の意味を折に触れ、浸透させていくことが求められる。

【質問②】

職：私は分かりやすい授業に努めている。
 生：本校の先生方の授業は説明が分かりやすいと思う。

教職員が分かりやすい授業に努めている割合は全体からするとまだまだ憂慮する状況にある。ICT活用等でわかりやすい授業へと転換を図らねばならない。生徒による授業評価は、次の質問で前向きに受けている生徒のおよそ半分が分かりやすいと回答していることになるので、まずは授業を受ける姿勢から、そして予習・復習の基礎となる学習の定着が先ではないだろうか。学校活動の主軸は授業であり、より質を高めることは当然のことだが、生徒に学習の大切さを確認させること、それがあって学力の向上につながるものと言える。

【質問③】

職：本校の生徒は授業に前向きに取り組んでいる。

生：私は授業に前向きに取り組んでいる。

昨年度からの重要な課題であるが、教職員、生徒ともに減少していることは残念である。授業を大切に、授業に前向きに取り組むように折にふれて話をし、教職員は授業改善に努め、生徒は毎日の学習をおろそかにしないよう、来年度は数値を2割は向上させたい。

【質問④】

職：本校は進路目標の充実に向けて努力している。

生：本校は進路目標の達成に向けて適切な指導を行っていると思う。

教職員は、昨年度より高い割合であった。反して生徒は低い割合となった。高校3年間は一人ひとりが進路を実現できるようにすることであり、その達成に向け、全力を尽くしたい。

【質問⑤】

職・生：本校は進路目標達成に応える十分な情報が揃っていると思う。

進路実現に向けて上級学校の情報、過去の受験報告書などより充実した内容で生徒に必要な情報を取り揃えて整理、見やすく配置している。多くの生徒が活用しやすいように、啓発していかなければならない。

【質問⑥】

職：本校生徒は進路目標の実現に向けて努力している。

生：私は自分の進路目標の実現に向けて努力している。

昨年同様、高校卒業時の最大の目標である進路実現に向けて、努力できている生徒が半数以下という点に、教職員は着目しなければならない。より生徒自身が進路目標を設定し実現できるように教職員からの声掛け、家庭との連携、外部業者の新たな活用など様々な働きかけを今年度も行っていく。

【質問⑦】

職・生：本校の生活の規律（挨拶・時間を守る・服装など）についての指導は適切であると思う。

多くの教職員及生徒が適切ではないと感じている。本校が守るべき校則を遵守する校風を教職員が守り、勢いある慶誠高校への期待にこたえなければならない。服装指導に重点をおき、挨拶や時間を守る、掃除ができる生徒、めざす生徒像を育成する指導を継続する。来年度は生徒の自主性の育成にも視点を置いてみたい。

【質問⑧】

職：本校の生徒は校則をきちんと守っている。

生：私は校則をきちんと守っている。

昨年度、教職員58点、生徒148点、今年度は教職員54点、生徒143点と差異はあるが、年度を通して同じような数値である。7割余りの生徒自身が校則をきちんと守れているという意識があることは素晴らしい事であるが、教職員はそう感じていない部分が多々ある。一部の生徒の校則違反がそういう意識に繋がっているのであろう。ともに同じような割合を目指していきたい。

【質問⑨】

職：本校の生徒は普段からいつでも誰にでも進んで挨拶を行っている。

生：私は普段からいつでも誰にでも進んで挨拶を行っている。

教職員60点、生徒121点、両者間に開きはあるのは、部活動生だけでなく、全ての生徒が自ら爽やかな挨拶を行うことができているかが問われている。我々教職員からも挨拶を促すために、積極的に挨拶を励行していきたい。

【質問⑩】

職：本校の生徒は時間をきちんと守っている。

生：私は時間をきちんと守っている。

これまでのどの質問にも言えることであるが、教職員と生徒の開きが大きい。変化の激しい社会を生き抜くためにも生徒を指導し行動できるよう意識付けを行っていくのは教職員の共通した責務であると考えている。

【質問⑪】

職：本校の生徒は服装・頭髪をきちんとしている。

生：私は服装・頭髪をきちんとしている。

昨年同様、両者間に大きな開きがあり、生徒の結果も同様に非常に高いものとなっている。服装・頭髪指導の目標は、就職試験及び進学試験時に相手に不快感を与えないものであり、その意義を生徒に伝え、日頃の学校生活の中でもきちんと遵守できるよう指導を行っていく。ほとんどの生徒はきちんとできているため、一部の生徒の生徒が指導内容に納得した上で、遵守できるよう来年度も指導していきたい。

【質問⑫】

職：本校の生徒は交通ルールをきちんと守っている。

生：私は交通ルールをきちんと守っている。

この質問は命に繋がるものであると同時に一人の社会人となる場面である。正しい交通ルール、マナー、知識を身に付けられるよう、講演を依頼したり、日頃の生活指導の中で随時注意喚起をしていく。

【質問⑬】

職・生：本校は快適な学習環境にするために施設の整備に力を入れていると思う。

昨年度からICT化に向けて、整備を進めている。より生徒が充実した環境で学習できるように、引き続き整備を進めていきたい。

【質問⑭】

職：本校の生徒は校内美化に努め学校を美しくしようとしている。

生：私は校内美化に努め学校を美しくしようとしている。

本校の清掃時間は15分間であるが、まずはその時間内担当区域をきちんと清掃できるよう指導を行っている。エプロン着用しての掃除は、本校の特色でもあり、清掃時間外でもごみが落ちていたら拾うなど、日頃から校内美化についての意識を持てるようにしていきたい。

【質問⑮】

職・生：本校には悩み事を相談しやすい雰囲気があると思う。

教職員、生徒、両者とも低い結果となっている。本校には、SSW（スクールソーシャルワーカー）も在籍しており、予約制でカウンセリングを受けることができるようになっている。ただ、それだけでは「相談しやすい雰囲気」には直結していないといえる。教職員は日頃より、生徒たちの信頼関係を築くことに努め、「生徒の声を聴く」という受け入れる姿勢を持てるようにしたい。生徒の毎日の言動・行動・表情などから違和感があった場合には、さりげなく声掛けをするなど気配り、目配りをめざしたい。来年度の課題である。

【質問⑯】

職：本校の生徒はお互いの意見を尊重し合うようにしている。

生：私はお互いの意見を尊重し合うようにしている。

学校生活の中で、SNSをはじめ、トラブルに繋がりやすい事項としてコミュニケーションが挙げられる。友人間でのトラブルに、思い込みも多く、教職員、生徒共に相手を慮る気持ちを持てるようにしていきたい。

【質問⑰】

職・生：本校の人権教育は充実していると思う。

人権教育の充実度は低く推移している。学年ごとの人権に関する講演を開くなど推進していかなければならない。来年度は充実を図りたい。

【質問⑱】

職・生：本校の学校行事（体育祭・文化祭・歓迎遠足等）は充実していると思う。

今年度もコロナウイルスの影響が強く働いていると推測されている。今年度の1，2年生は入学後、ほとんどの学校行事が中止・延期・縮小のいずれかで対応しており、本来の開催形式とは程遠いものとなった。ただ、コロナ禍を学校行事の在り方を見直す機会ととらえ、文化祭が新しい形態で実施できたのは大きな成果であった。

【質問⑲】

職・生：本校の図書館は利用しやすい。

昨年度からしても低い結果となった。今年度も実現できなかった生徒が利用しやすい環境になるよう努めていきたい。

【質問⑳】

職：本校の生徒は積極的に部活動に取り組んでいる。

生：私は部活動に積極的に取り組んでいる。

評価が向上した質問で、教職員の評価が最も高い質問となった。強化部・準強化部ともに活動が盛んでその成果が成績となってでてきたので、新聞、メディアで取り上げられ、県民の民様にも本校の存在をよりアピールでき、知られるようになった。来年度のさらなる活躍が楽しみである。

【質問㉑】

職：本校の生徒はボランティア活動に積極的に取り組んでいる。

生：私はボランティア活動に積極的に取り組んでいる。

本校では、厚生委員会を中心にボランティア活動案内などを行っているが、コロナウイルスの影響で過去3年間ほとんどの活動の場が失われている。そういった中でボランティア部のSくらぶでは、コンタクトレンズの使用済みケースの収集を新規に呼びかけ、多くの生徒が協力してくれている。また、部活動ごとに学校周辺の地域の清掃活動等もより行っていきたい。

【質問㉒】

職：本校の生徒は配付物など家庭に持ち帰り保護者に確実に伝えている。

生：私は配付物などを家庭に持ち帰り保護者に確実に伝えている。

生徒は約半数の生徒ができていると答えているが、教職員の印象としてはそうではない。学校、学年から発信をしてはいるが、生徒自身がその内容等に関心がないこともあり、全体的に低い傾向になる。毎月の学校便りは保護者にもとても好評であり、継続して、今後はタブレット等を用いて効果的な発信を行っていきたい。